

fair enough の辞書記述改善案

— インフォーマント調査とコーパス分析を通して —

仁 科 恭 徳 鈴 木 大 介
平 田 恵 理

Abstract

This study explores the use of the English interjectional phrase *fair enough* based on the two-fold approaches, namely, questionnaire analysis on speaker's mental state in his/her utterance and corpus analysis of the usage with BNC and COCA. The result indicates that this phrase implies the negative attitude towards the hearer's previous utterance in most cases. It also closely relates to politeness, speaker's age, social class and so on. Since these aspects are not treated in the current English-Japanese dictionaries, this study attempts to present an alternative sample description based on a wide range of findings.

1. 序 論

本稿の目的は、間投詞的な句として扱われる *fair enough* の使用に関して、発話者の心的態度のインフォーマント調査とコーパス分析の結果を基に、現行の学習英和辞典の記述改善案を示すことにある。本稿のきっかけは、論者が英国留学時代に出会った米国人研究員との以下のような日常的やりとりである。

A: What are you up to this weekend?

B: I need to work on my Ph. D. because I have a supervision soon.

A: *Fair enough*.

元来、英語表現 *fair enough* は伝統的形式意味論における構成性の原理（フレーゲの原理）に従えば、*fair* の意味を強めた単なる肯定的あいづち表現として解釈され、WD2 など多くの英和辞典においてもこの意の訳語が掲載されている。しかしながら、発話者の心的態度によっては否定的に再解釈することが可能で、そうであればイディオム性が高い表現ということになる。

本稿では、発話時の話者の心的態度をインフォーマント調査しコーパスから得られた知見も加えることで、*fair enough* の学習英和辞典の記述改善案を示す。

2. 間投詞的な句と方法論

現行の学習英和辞典では、*fair enough* を間投詞もしくは間投詞的に取り扱っているものが多い。間

投詞を網羅的に研究した Nishikawa (2010: 3, 19) によれば、間投詞は統語的に独立し、特に話者の感情や心的状況、心的態度を表す品詞として現在まで扱われてきた。古くは Bloomfield (1933)、最近では Ameka (1992) が指摘するように、他の品詞と異なり句単位の表現も間投詞に含められる。

また、Leech (1983) も指摘するように、話者の心が反映した間投詞などの調査には、字義的意味の奥に隠された発話意図の読み解きが重要であり、発話者へのインフォーマント調査の実施が不可欠である。論者は、fair enough は特定の状況に応じて発話者が意識的に選んだ間投詞的な句であり、伝達目的を暗に含意していることから推論的コード解読が必要な発話行為であると考えている。

そこで、fair enough の分析にあたり、インフォーマント調査（主観的情報）と 2 種類のコーパス分析（客観的情報）の結果を基に考察を進める。インフォーマント調査は、計 13 名の英語母語話者である大学教員に実施し、当該表現の発話時の心的態度を尋ねた。インフォーマントの社会的階級が限られていることから、回答結果に偏りが見られないように、一部の質問内容に関しては他者が使用する場合も勘案するよう指示した。さらに、イギリス・アメリカ英語を代表する 2 種の大規模コーパス British National Corpus (BNC) と Corpus of Contemporary American English (COCA) を用いて、当該表現の現代の使用実態を探る。

3. BNC と COCA における fair enough の基本データ

表 1 は fair enough を単純検索した場合の粗頻度とその割合を示す。表 1 以降は 2010 年 5 月 21 日付けの検索結果のデータを基にしているが、現在 COCA の総語数は若干拡大しており、同一の結果が得られない状況にある。100 万語あたりの出現率や出現テキストの割合から、fair enough が Spoken ジャンルで出現する傾向が高いことが分かる。また、イギリス英語における割合がアメリカ英語の約 4 倍程度 ($\chi^2=482.042$, d.f.=1, $p<0.001$) であることも分かる。

表 1 fair enough の頻度とその割合

	BNC			COCA		
	Spoken	Written	Total	Spoken	Written	Total
Freq.	322	178	500	206	375	584
Per mil.	30.93	2.02	5.09	2.52	1.17	1.44
Dispersion	0.16	0.04	0.07	*	*	*

*BNCweb を使用。Spoken の合計は 10,409,858 語、Written の合計は 87,903,571 語。

次に、表 2 は、BNC-Spoken の種別データを示す。Dialogue での出現率が Monologue の 3 倍以上あり、当該表現があいづち表現として使用される傾向が高いことを示している。後に、具体例を挙げる。

表 2 話し言葉の種別 (M/D 間: $\chi^2=25.432$, d.f.=1, $p<0.001$)

	Freq.	Per mil.	Dispersion
Monologue	16	10.24	0.06
Dialogue	306	34.58	0.19
Total	322	30.93	0.16

次に、Written ジャンルのサブジャンル別データを表 3 に示す。尚、類似した検索インターフェー

スを持つ COCA との簡易比較を行うため BYU-BNC を用いた⁽¹⁾。書き言葉では Fiction で出現する傾向が高いが、これは Fiction にはダイアログなどの話し言葉のデータが多数混在していることが理由と考えられる。

表3 Written ジャンルのサブジャンル別データ

		Fiction	Magazine	Newspaper	Academic	Non-acad	Misc
BNC	Freq.	85	32	15	6	7	33
	Per mil.	5.34	4.41	1.43	0.39	0.42	1.58
COCA	Freq.	237	82	41	15	*	*
	Per mil.	3.01	0.98	0.52	0.19	*	*

そこで、スピーチマークやダイアログ内で出現したものを話し言葉として再カウントすることで、書き言葉中の書き言葉と話し言葉の割合を再調査した。表4は、当該表現が真の書き言葉として出現した場合は Written-Written に、書き言葉中の話し言葉として出現した場合は Written-Spoken に類別した結果を示している⁽²⁾。また、表5は、表4を基に表1のデータを修正した結果を示す。

表4 BNC と COCA における Written 内の Spoken データ

	BNC Written (178)		COCA Written (375)	
	Written-Written	Written-Spoken	Written-Written	Written-Spoken
Freq.	110	68	150	225
Ratio	62%	38%	40%	60%

表5 fair enough の頻度とその割合 (修正版)

	BNC		COCA	
	Spoken	Written	Spoken	Written
Freq.	390	110	434	150
Ratio	78%	22%	74%	26%

表4から fair enough の使用は書き言葉においても実は話し言葉として使用されるケースが多く、表5から当該表現はほぼ口語表現であることが分かる (約75%程度)。辞書のレーベル表示は、書き言葉/話し言葉の正確な頻度情報に基づき (話), (主に話), (しばしば話), (時に話) など変化するので、コーパスから獲得する数値の正確性は重要である。同時に、それでも約25%もの例が書き言葉で使用されている点も興味深い。以下は、純粋な書き言葉の使用例である。

In other words, it is not only cheaper to buy the parent company's shares, buying them gets you a share of the non-telecom activities for less than nothing. That might seem **fair enough** considering the profitability of those businesses, but they are not quite so bad that people should be paid for taking them away. (BNC_A 9 U_W_newsp_brdsh_t_nat_commerce)

上例は BYU_BNC に収められた Guardian の記事の抜粋である。話し言葉では、fair enough の多くは間投詞的に使用されているが、書き言葉では、書き手自らが提案する考えや条件に対して自らの心的態

度や評価 (evaluation) を示す用例が多い (Evaluation は Hunston & Thompson (2000) を参照)。いずれにしても、話し・書き言葉に関わらず、発話者や書き手の主観的態度を示す場合が多い。

補足データとして、真の書き言葉における *fair enough* の 2 種の意味の割合も表 6 に示す。2 種の意味とは、「公平性」を問う意味と、人の美しさと魅力、特に肌や髪の色が白いなど「外見」を描写する意味である。

表 6 真の書き言葉における *fair enough* の 2 種の意味

	BNC (110)		COCA (150)	
	公平	外見	公平	外見
Freq.	109	1	146	4
Ratio	99.1%	0.9%	97.3%	2.7%

表 6 の結果から、書き言葉においても当該表現はほぼ公平性を問う意味で使用されている (90% 代後半)。尚、外見を描写している用例には *The child, Corinne, was fair enough to look white...* や *She was pale in every way, with hair fair enough to be called white...* などをカウントした。表 6 の頻度や割合から、外見描写の意味を含んだ数値を用いても統計的に調査上の問題は無いだろう。

尚、同様に話し言葉中に出現した *fair enough* も手作業で全例精査した。間投詞的な用法を機械的に抽出したい場合には *fair enough* + punctuation marks という検索方法も想定されるが、punctuation marks が付くべき所で省略されていたり、*fair enough* の直後に他の間投詞が後続する用例なども散見されたため、*fair enough* の検索において簡易的に *fair enough* + punctuation marks と指定することには意味がなかったためである。

次に、BNC から得られたデータを基に、表 7 は使用者年齢、表 8 は使用者性別、表 9 は使用者の社会階級に関するデータを示す。

表 7 使用者年齢

Written: author age			Spoken: respondent age			Speaker: age		
	Freq.	Per mil.		Freq.	Per mil.		Freq.	Per mil.
0-14	0	0	0-14	3	11.24	0-14	4	10.38
15-24	1	1.84	15-24	28	42.08	15-24	23	38.69
25-34	6	2.65	25-34	26	30.45	25-34	54	48.19
35-44	15	2.23	35-44	44	52.06	35-44	54	50.2
45-59	19	2.63	45-59	51	52.93	45-59	60	36.62
60+	13	2.54	60+	27	42.25	60+	27	23.74
Total	54	2.46	Total	179	42.28	Total	222	37.3

表 8 使用者性別

Written: author gender			Spoken: respondent gender			Speaker: gender		
	Freq.	Per mil.		Freq.	Per mil.		Freq.	Per mil.
Male	68	2.22	Male	78	44.77	Male	163	32.93
Female	34	2.33	Female	101	40.8	Female	94	28.57
Mixed	17	2.6	Total	179	42.44	Total	257	31.19
Total	119	2.3						

表 9 社会階級 (BNC-spoken のみ)

	Spoken: social class of respondent		Speaker: social class	
	Freq.	Per mil.	Freq.	Per mil.
DE	44	69.7	29	64.23
C 2	58	53.32	35	48.62
C 1	40	36.22	32	40.91
AB	36	26.22	25	30.59
Total	178	42.42	121	43.67

*DE: semi-skilled or unskilled; C 2: skilled manual; C 1: junior management, supervisory or clerical; AB: top or middle management, administrative or professional

表 7 から当該表現は若年層よりも中年層で好まれて使用されているが、表 8 から性別による使用頻度の違いは見られない。また、表 9 の社会階級の調査結果から、fair enough の使用は社会階級が最も低い DE 層で好まれている。DE 層の例は、*So I says, aye I mean fair enough. So this one, wait at bus, she says...* や *I'm going up to Mandy's. Oh I says, right fair enough. No they [unclear] and walked off. Anyway she's...* などであり、I says など規範文法から逸脱した表現からもその社会層が伺えるが fair enough の使用自体に特異性は見られない。

尚、fair enough の使用に関する社会階級調査の結果は、一般的な高等教育課程を経て社会的常識を身につけた中産階級層こそが対人関係上ポライトネスを重視するという予測と一見相反している。しかし、雇用者と被雇用者の関係を考えた場合に社会的地位がより低い被雇用者の方が雇用者に対して謙る傾向にあることは想像に難くない。実際、当該表現がビジネス上で顕著に使用されることが表 10 から分かるが、この点に関しては詳細に調査する必要がある。

表 10 話し言葉のテキストタイプ

	Freq.	Per mil.
Business	53	41.33
Educational/Informative	41	24.9
Leisure	25	15.88
Public/Institutional	24	14.35
Total	143	23.15

4. インフォーマント調査とコーパス分析

4.1. インフォーマント調査の回答者データ

次に、fair enough 発話時の心的態度を調査するために、英語母語話者へインフォーマント調査を実施した⁽³⁾。各英語圏出身者からデータを得られるように配慮し、計 13 名から回答を得た。表 11 は、回答者の出身国情報である。個人研究の限界から、国籍のバランスや数などには改善の余地はあるが、現時点で論者が獲得できる英語母語話者の貴重な情報源でもある。

表 11 回答者の出身国

	US	UK	Canada	AUS	NZ	Total
Male	3	3	1	1	1	9
Female	0	4	0	0	0	4
Total	3	7	1	1	1	13

4.2. fair enough の心的態度とその用例

相手に同意する場合に使用するであろう *fair enough* であるが、実は、発話者は相手に同意しきれない否定的感情を持っているのではないかと。そのようなニュアンスが、小西（1989）における *enough* の副詞用法の記述から推測される。

A enough：結構 [十分] A；まずまず [まあまあ] A 《A は形容詞・副詞》ときに「(完全に満足いくほどではないが) まあなんとか A」のように話し手の不満や妥協が含意される。この意ではしばしば次のように but と相関的に用いられる (p. 601)

形式と意味の観点から再考した場合、*fair* よりもむしろ *enough* に否定性が含意されると考えるのが自然であろう。「完全には満足しておらず、話し手の不満・妥協が含意されている」のであれば、*fair enough* の使用も否定性が含まれており、不満や妥協などがディスコース上に言語化されている可能性も高い。

仮に、*fair enough* に否定性が含まれるなら、人との対話時において相手に部分的に同意していないのか、全く同意していないのか、言語の表層上からは見えにくい心的態度を調査することには意味がある。そこで、インフォーマント調査では、*fair enough* 発話時の心的態度として相手の発話内容に「全く同意」、「部分的に反対」、「全く反対」の3つの簡易スケールに「その他」を加え、複数回答方式で尋ねた。選択した心的態度に関して具体例を、「その他」を選んだ回答者には発話時の具体的な心的態度を明記するよう指示した。尚、調査スケールを3段階にした理由は、心的な解釈において5・7段階など複雑なスケールで尋ねた場合に、回答者の直感がぶれる可能性を避けるためである。

表 12 は、*fair enough* 発話時の心的態度の集計結果である。

表 12 回答者の心的態度

	全く同意	部分的に反対	全く反対	その他
回答者数	3	12	4	2
全体との割合	23%	92%	31%	15%

「部分的に反対」を選んだ人が圧倒的に多い。また、「その他」を選んだ2名の回答者はいずれも米国人男性で、その理由に「相手の発言から不本意に、あるいは新たに気づかされたので、相手の言い分に部分的に同意する」と回答した⁽⁴⁾。つまり、相手の意見に自分では気づかなかった「新発見」がある場合に用いられ、日本語に訳出すれば「(確かに) そうですね」や「なるほどね」などが適しているだろう。このような訳語は現行の英和辞典には見られない。

次に、回答者が作成した *fair enough* 発話時の心的態度別の具体例を挙げる。解釈しやすいものを例示するために、下例はダイアログに限定した。初めは、「全く同意」のサンプルの一部である。

Sample (1)

A: I have an appointment later, so I have to leave by 5 pm.

B: *Fair enough*, we'll finish early then.

Sample (2)

A: There are 20 essays to mark, let's do half each.

B: *Fair enough*. I wonder how long it will take to finish them.

相手の置かれている状況に同情し協力的姿勢の表れとして *fair enough* を使用し、公正性の観点から考慮しても相手の言い分に全く異論がないことが読み取れる。

次に「部分的に反対」のサンプルの一部である。

Sample (1)

A: Let's go shopping.

B: I want to go watch a movie.

A: How about we go shopping then watch a movie?

B: Sounds *fair enough*.

Sample (2)

Teacher : Please read pages 10-50, and do the essay for homework.

Students: Both reading and writing! That's too much!

Teacher : *Fair enough*. Just do the reading then.

Sample (1) ではすぐにも映画を見たいが相手の要望にも答えなければならない半ば強制的な状況が、Sample (2) では本音は writing の課題も与えたい教師の願望が *fair enough* に含意されている。心的態度としてはどれも否定色が強く、相手の言い分にくらか不満があることが文脈から読み取れる。

次に、「全く反対」のサンプルである。

Sample (1)

A: I'll give you 50% off, that's a good deal.

B: *Fair enough* but I still want it.

A: How about we go shopping then watch a movie?

A: Sounds *fair enough*.

Sample (2)

A: I've decided I will get that divorce after all. I've instructed my lawyer to do ahead with proceedings.

B: I thought we'd talked about that. You are going back on word. *Fair enough!* I'll get a lawyer, too!

Sample (1) では、世間一般的な尺度に基づけばリーズナブルな値段であるが、話者自身の尺度では「もっと値段を割り引いて欲しい」という心的態度が後続の but 節から読み取れる。Sample (2) では、*fair enough* は「もういいわ」ぐらいに訳せることから、相手が取った身勝手な行動にうんざりしている状況を示している。

最後に「その他」の例をあげる。「その他」は、前述したように今までに話者が気づかなかった「新発見」の意が *fair enough* に込められている。

A: The price for that is \$ 1.00, not \$ 2.00, look at the price tag.
 B: Oh ok, *fair enough*. It's \$1.00.

この例では、事実を指摘されて B が A の発話内容に納得したと解釈できる。

4.3. *fair enough* の否定的使用に関する調査

英語母語話者の中には、自分が「全く反対」の意で *fair enough* を発話しなくとも他人が発話したのを聞いたことがあると答えた者もいた。そこで、*fair enough* が「完全否定」の意で使用可能かどうかを Yes/No 方式で再度調査した。

表 13 *fair enough* の完全否定使用可・不可の調査 (Yes/No 方式)

Yes (可能)	No (不可能)	N/A (無回答)
54%	31%	15%

自らが使用しなくとも「完全否定」の意で使用される場合もあることが分かる。

この「完全否定」の使用法は、Grice (1989) の「質の公理」の逆用に理論的裏付けを部分的に求めることができる。Grice (1989: 26-27) は 4 つの下位原則 (または公理) から成る協調の原則 (Cooperative Principle) を提案し、その中の一つ「質の公理 (Maxim of Quality)」を以下のように定義している。

[Maxim of Quality]

Try to make your contribution one that is true, specifically

- (i) do not say what you believe to be false.
- (ii) do not say that for which you lack adequate evidence.

このような公理は「やりとりを支配する暗黙の法則」(小泉, 2001: 40) だが、Grice (1989: 34) は話し手が X に裏切られた後で *X is a fine friend*. と発話するような「質の公理」違反の例を挙げ、「皮肉」的に逆の意味が伝達されると指摘する。この場合、その場にはいない第 3 者に関するコメントなので、聞き手も話し手の「皮肉」を解釈するのは容易である。一方、*fair enough* も以下 UK 男性のコメントにあるように「皮肉」の意で使用可能だが、ポライトネスの関与や聞き手へのあいづち表現でもあることから、その「皮肉」が聞き手には伝わりにくい。

では、相手の発話に否定的な発話者が、なぜ他の類似表現でなく *fair enough* を使用するのか。以下は、インフォーマントから得た使用理由のまとめであり、発話者の本音と建て前にかかなりの乖離があることが分かる。特に、相手への尊敬・同情などのポライトネス要因が使用要因であることは興味深い。

- 会話を長引かせたくない場合。自身の意見とは異なっても相手の意見が道理にかなっていたり、文化的な違いなどが起因している場合。(US 男性)
- 人間関係上、相手の意見に面と向かって反対できない場合。また、相手の議論を理解し尊敬の念を示すために使用するが、同じ意見や感情は持っていない場合。(Canada 男性; AUS 男性;

UK 女性；US 男性)

- ・相手が置かれている状況に同情や思いやりを示す場合。(NZ 男性；US 男性)
- ・ほぼ皮肉的に使用する場合。(UK 男性)
- ・同意するまでには至らないが反対もできず、とりあえず表面上は相手の言い分を受け入れる場合（「そこはそうかもね」などの、保留的な意味が含まれる）。譲歩・妥協を示す。(Canada 男性；UK 女性；AUS 男性；US 男性)
- ・相手の議論内容には退屈で関心がない場合。(UK 男性；UK 女性)
- ・早く話題を変えたい場合。いらつきを示す場合。(Canada 男性；AUS 男性)

他の意見には「*that's fair enough* は *that's fair* とニュアンスが異なり、前者は相手の言い分に部分的に反対している場合にしか使用しない (AUS 男性)」や「*fair enough* は必ずとっていいほど *but* が後続する (US 男性)」があった。事実、表 14 が示すように、*fair enough* は *but* や *although*, *yet* など対立を表す等位接続詞や反意的な接続副詞、譲歩の副詞節を導く接続詞が一定の割合 (20%) で後続し、否定的心的態度が言語化されることがしばしばある⁽⁶⁾。尚、本稿では、このような接続 (副) 詞を便宜上まとめて「逆接」と呼ぶことにする。

表 14 BNC と COCA における逆接の割合

	BNC		COCA	
	raw	%	raw	%
<i>fair enough</i>	99	19.8	117	20.0
<i>that/it is/s fair</i> (not followed by <i>enough</i>)	5	1.8	20	1.2

*項目間: $\chi^2=49.17$ (BNC), 268.067 (COCA), d.f.=1, $p<0.001$

[*that/it*] + [*is/s*] + *fair* に *enough* が後続しない場合と比較した場合、かなりの割合で *fair enough* が逆接と共起している。尚、逆接のカウントは目視で調査し *that's fair game but...* など調査対象と異なる非関連表現、*it is fair to say, however, that...* のような *fair* ではなく前文に対する逆接の例、*no one saying it is fair but...* など [*fair* の打消し] + [逆接] といった逆接内容が逆に *fair* が示す肯定内容にかかる (共起) 例などは手作業で除外する方針を採った。

Leech (1983) は協調の原則に対する補完として、丁寧さの原理 (Politeness Principle) を説き、その中で同意の公理 (Agreement Maxim) を提案している。先程挙げた逆接の後続は、この公理とも関連しているようである。

Agreement Maxim

- (a) Minimize disagreement between self and other
- [(b) Maximize agreement between self and other]

Leech (1983: 138) は、「部分同意」には直接的な意見の不一致を和らげる効果があると指摘し、同意の公理が作用していると言えよう。

A: English is a difficult language to learn.

B: True, but the grammar is quite easy.

A: The book is tremendously well written.

B: Yes, well written as a whole, but there are some rather boring patches, don't you think?

どちらのダイアログも、まずは B が A の意見を一旦受け入れて部分的同意を示し、その後自己 (B) の考えを伝達することで相手 (A) との真っ向からの衝突を避け、同意の公理に沿おうとしている。よって、部分同意は会話のやり取り上、相手との衝突を巧みに避ける方策の一つであり、*fair enough* (+逆接) も「人間関係上の問題」や「相手への思いやり・同情心」などから同意の公理に従って発話されると解釈できる。つまり、本音との間には一定の乖離があり、*fair enough* の発話には話者が相手に対して抱く否定性が含意される傾向にある。

4.4. *fair enough* 発話時の心的条件仮説：if 節のパターンから

本節では、*fair enough* の発話者の心中には何らかの評価基準が存在することを主張する。特に、当該表現の発話プロセスには、相手の発話内容をその基準に照合する心的操作と、内在的に発話者独自の主張が存在することを示す。

if 条件文に逆接が後続する場合、*if* 節の仮条件を満たすことで発話者の心的評価基準も満たす意図が *fair enough* に込められている。

- If there'd been a trail of destruction down the road, then *fair enough*, but I couldn't er go and vandalize something, ... (BNC: KBPS_conv)
- If it was a ramshackle building where no-one wanted to live, *fair enough*, but that is not the case. (BNC: K 54 W_newsp_other_social)
- If there is evidence to challenge that, *fair enough*, but just because we haven't seen it doesn't mean it doesn't exist, and I think this is one of the great fallacies that's arisen in the wake of the fantastically ... (COCA: 2004 SPOKCNN_Intl)

but 節や *I think* 節では話者独自の意見を述べているが、発話者を完全に満足させるためには、*if* 節が示す条件のみならず更なる条件も満たす必要が時にはあり、言わば、発話者の「部分的同意」を示している。表 15 は、*if* 条件文との共起、並びに、このパターンに *but* 節が後続している頻度とその割合を示す。

表 15 *if* 条件文との共起頻度とその割合

	BNC		COCA	
	<i>if</i>	<i>if+but</i>	<i>if</i>	<i>if+but</i>
Freq.	37	13	10	3
Ratio	7.4	2.6	1.7	0.5

*英米間: $\chi^2=21.009$ (*if*), d.f.=1, $p<0.001$ / $\chi^2=8.063$ (*if+but*), d.f.=1, $p<0.01$

表 15 は *fair enough* 発話時の話者の心的条件の存在を示すデータであるが、当該表現の発話にポライトネスが関与している以上、条件を聞き手に課すこと自体がポライトネス違反に成り得るので、表 15 の数値の低さは自然であろう。

現在までの分析結果を考慮すると、*fair enough* の発話、特にその否定使用に関して心的な 2 段階の評価条件の存在を仮定することができる。



図 1 *fair enough* 発話者の 2 段階の心的条件仮説

更に、インフォーマントは、この仮説に関連した意見も指摘している。AUS 男性は「*that's fair* と *that's fair enough* は意味が異なり、後者のみ逆接が後続する」と指摘しており、前者は「肯定・同意」の心的態度が、後者は心的な「評価基準」そのものが前景化されると解釈可能である。

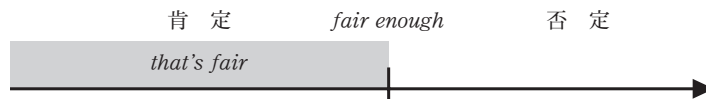


図 2 *that's fair* と *fair enough* の前景部の異なり

心的な評価基準が前景化されるということは、*that's fair* と比較して相手の発言への不満、つまり否定性がより際立つとも解釈できる。

用例数は少ないが、*if* 節が逆に発話者の不満足度の基準を示すこともある。

- If people want to do that, then *fair enough*. We will see what happens. (BNC: CEPW_newsp_other_sports)
- If some of them want to do midnight basketball, that's *fair enough*. If they want to do something else with it, do something else... (COCA: 1994 SPOKABC_Nightline)
- If you won't help, *fair enough*. I'll see you at the inquest. (BNC: HTLW_fict_prose)

上例では、発話者に何らかの否定的な評価基準が存在し、そのような許容範囲を超えることになる相手の行動が *if* 節によって具体描写されている。つまり、「こちらの忠告などにも拘わらず…をするのであれば、勝手にしなさい。どうなるか状況を見守りましょう。」といった一種の勧告コメントとも受け取れ、*if* 節が *fair enough* 発話の前提条件を暗示していると解釈可能である。

4.5. 心的条件仮説の裏づけ

前節の心的条件仮説を裏付けるデータを示し、仮説の信憑性を高める。一つ目は、他の呼応表現との共起である。

- Yes. Yeah, alright, okay, thank you. Right, okay, *fair enough*, I, I accept that point and I will ensure that... (BNC: KCES_conv)
- Alright, *fair enough*. (BNC: KB 7 S_conv)

- Miller said she was working on a story. OK, well, fair enough. But, I got to tell you, I am not a Woodward fan. (COCA: 2005 SPOKFox_Saturday)
- ... if you could ask him to give me a call Yeah, fair enough. I mean it's the best way to do it anyway, anyway. (BNC: KSRS_conv)

上例では、相手の発話や前文を受けて、自身の満足度が主観的に設定した心的基準（図1の心的第一条件）を満たしているか、繰り返し自己確認している。また、表16から他の呼応表現との繰り返しはイギリス英語に見られる傾向が高い。

表 16 他の呼応表現との共起頻度と割合

BNC		COCA	
Freq.	%	Freq.	%
131	26.2	77	13.2

*英米間: $\chi^2=29.426$, d.f.=1, $p<0.001$

二つ目は、*fair enough* が *seem* や、*suppose*, *think*, *sound*, *guess* など自己の主観的認識を表す思考動詞や法性を伴う動詞としばしば共起し（以下、自己認識動詞）、話者の不確かな心的態度を表す点である。この共起例では、心的尺度が主観的基準であることから明確にその基準を満たしているかは判別不能だが、自己認識では基準を満たしている、といった発話者の不確かな「推論」を示す。

- Nobody reported to me that it was not open. Well, it seems fair enough to point out, Minister, that now that you know that it has... (COCA: 1990 SPOKABC_Nightline)
- "I think I've answered your question fully. And now, suppose you tell me why you wanted to know all this?" "That's fair enough, I guess," Merrill said slowly. (BNC: HA 7 W_fict_prose)
- "This is good. Very clear, I can make two keys for you. Come back tomorrow, after five. He's gone then. 50 francs?" "That sounds fair enough." Said Lucy. "And I win my bet." (BNC: FSFW_fict_prose)
- Jazz once described my apartment as "shabby chic meets Africa. "Fair enough, I suppose. The ambience I'd created with my eccentric flea-market finds... (COCA: 2008 FICBk: Death DeceitAmp)

このような共起例は、我々が想定する心的条件仮説の存在を支持する一つの証拠となる。表17は自己認識動詞との共起頻度とその割合である。

表 17 自己認識動詞との共起頻度と割合（英米間: $p<0.001$ ）

BNC		COCA	
Freq.	%	Freq.	%
68	13.6	48	8.2

*英米間: $\chi^2=8.162$, d.f.=1, $p<0.01$

三つ目に、明らかに心的基準が存在する例を参照されたい。

I can't quite figure this organization out. Well, *to be fair enough*, I have to give the BBC a little credit for inspiring lots of... (COCA: 2005 SPOKFox_OReilly)

to be fair enough の箇所では「*fair enough* の設定する心的基準を満たすために」と読み取れ、話者の中の心的基準の存在を露呈していると解釈できよう。

5. 辞書記述改善の提案

最後に、本稿の分析結果と表 18 の学習英和辞典の記述を比較することで、英和学習辞典の記述改善案を提案する。

表 18 学習英和辞典の記述（各辞書名は参考文献を参照）

GN 4	WD 2	OLEX	AC
(主に英略式)(1)[通例問投詞的に] まあいいでしょう、そりゃ結構、了解した (all right) 《提案に賛成して》；これは見事；これでいいですか。(2)(ある程度) 正しい。	(主に英・くだけで)[通例] 囲として] わかった、十分だ；まあいいでしょう。	もっともだ；わかった；了解；まあいいでしょう (= That's fair).	インフォーマル [形] けっこうな、文句のない。〈対話〉“I'll pay you \$40 for this” “Well, that's <i>fair enough</i> .” 「これに 40 ドル払います。」「それでけっこうです。」[副] インフォーマル (返事に用いて) いいとも、オーケー (次に「しかし」と条件を付けることがある)。

初めにレーベル表示を概観する。本稿の分析結果から、当該表現がアメリカ英語よりもイギリス英語で 4 倍程度多く出現しており、GN 4・WD 2 のレーベル表示には正当性がある。しかし、話し言葉での出現率が約 75% と多く、くだけた表現以上に、(主に話) のレーベルを貼る必要もあろう。また、(ていねいに) や (皮肉で) など発話態度のレーベルも各語義に適時追加する必要もあろう。

次に関連表現である。OLEX では *fair enough* を *that's fair* と同意としているが、インフォーマント調査から前者は否定的だが後者は肯定的とその意味機能の違いが指摘されており、この点に関しても何かしらの修正が求められる。

語義 (正確には訳語) に関しては、インフォーマント調査の結果から「完全肯定」の意よりも否定色がやや強い「妥協」の心的態度を示す場合が多いことが分かっており、このような発話態度を考慮した訳語・語義順に配慮すべきであろう。本来の *fair enough* の中核的意味である「部分否定」に近い訳語は GN 4 や WD 2, OLEX の「まあいいでしょう」にあたるが、*fair enough* の発話には人間関係上の理由で公に反論出来ない場合や相手の発話内容に興味が無い場合、いらつきさえ見せる場合などがあり、このような心的態度を辞書記述に反映させる場合には、否定的ニュアンスを匂わす訳語を掲載するか、発話態度のレーベルを付与するのが最も妥当な方法であろう。また、本稿で明らかになった「新発見」の意の訳語「そうだったのか」や「なるほどね」、「確かに」なども追加を検討すべきではなかろうか。尚、GN 4 の「そりゃ結構、こりゃ見事」、AC の「けっこうな、文句のない」など、単なる肯定的態度

を超え感嘆の意味にも捉えられるので、訳語の言い回しにやや修正を加えてもよいだろう。

以上の観点を考慮し、fair enough の辞書記述試案を示す（例文は省略）。

（主に英・主に話・くだけで）〔通例間投詞的に〕1（ていねいに）〔時に逆接を伴って〕（不本意ながらも）そうですね、分かりました；（皮肉で）おっしゃるとおり。2（肯定的に）それでいいです、分かった、納得した、言うとおりにするよ。3（否定的に）もういいわ、もうたくさん、うんざりよ。4（相手の意見に魅せられて）なるほどね、確かにそのとおり（かも）。

上記の試案では、「部分肯定」、「肯定」、「否定」、「新発見」の順序で語義を配列している。辞書の編纂上、記述スペースには限りがあるので、適時、掲載する訳語の数を減らすべきであろう。尚、下線部は省略可の部分を示す。

6. 結 語

小泉（2001: 138）が指摘するように、社会の中で人間が言語活動を行う場合「丁寧であることは特別なものではなくそれが標準の状態」であり、人間関係を構築していく上で重要である。その意味でも fair enough の巧みな使用は相手との衝突を避けるために社会的言語活動において必要な言語技術と言えよう。

最後に、辞書記述の改善にはコーパス分析のみならず、徹底したインフォーマント調査も必要であることを強調したい。従来とは逆に、（大規模な）インフォーマント調査の結果から構築した仮説を基にコーパスを援用することも有効な言語分析方法の一つになろう。また、今後 BNC や COCA のサイズを大幅に超える超大規模コーパスが到来すれば、ディスコース分析のみでもある程度の言語実態を解明することも可能となろう。

註

- (1) BNCweb でも同様に検索したが、ジャンル別頻度が異なっていた。表3から Newspaper では BYU-BNC で15例、BNCweb で12例ヒットした。この差分の3例は全て BYU-BNC では W: news_script と区分され、BNC のヘッダー情報では Written_to_be_spoken とテキストタイプに区分されている。つまり、BYU-BNC ではテレビニュースの SCRIPT は Newspaper に、BNCweb では Unpublished Written Material に区分され、後者の方が詳細なジャンル分析に向いている。
- (2) このような調査は書き言葉・話し言葉といったサブコーパスの概念そのものが崩壊することから、100万語あたりの出現率などは求めることが出来ない。
- (3) インフォーマント調査で使用了内容

1. 国籍（ ）と性別（ ）
2. 会話の中で 'fair enough' を使用する際、相手の発言に対してどのような心的態度ですか？ 直感に従い、以下の選択肢からお選び下さい（複数選択可能）。
 - a) 相手の発言に全く同意している。
 - b) 相手の発言に部分的に同意しているものの、部分的には同意していない。
 - c) 相手の発言に全く同意していない。
 - d) その他（具体的に： ）
3. 上記で選んだ回答に関して、具体例な例（ダイアログなど）を作成して下さい。
4. 'fair enough' を完全否定で使用することは可能ですか？ Y/N
5. 'fair enough' を使用する理由は何ですか？

尚, 2cの「全く同意していない」と4の「完全否定」は同じ意だが, 後者では否定的表現として使用するかを明確に尋ねるために「完全否定」とした。また, 2の質問では回答者自身がどのような心的態度で普段使用しているかを聞き, 4の質問は自らが使用しなくとも他者が使用する場合も含めて *fair enough* の完全否定使用の可否を問うている(インフォーマントに説明済み)。

- (4) 例えば, “I was wrong, now I know.” のような回答であった。
- (5) 表 14 から, 話者自身の意見が必ずしも具体的に言語化されてはいない。仮に *fair enough* が人間関係を重んじる垣根表現で, 後続の逆接部分が相手への「部分否定」の表れなら, 自己の意見を明示しない傾向は自然であろう。

参考文献

- Ameika, F. (1992) “Interjections: The Universal yet Neglected Part of Speech.” *Journal of Pragmatics* 18: 101-118.
- Bloomfield, L. (1933) *Language*. London: George, Allen & Unwin.
- Grice, H. P. (1989) *Studies in the Way of Words*. Cambridge, MA: Harvard University Press.
- Hunston, S., and G. Thompson. (2000) *Evaluation in Text: Authorial Stance and the Construction of Discourse*. Oxford: Oxford University Press.
- 小泉保 (2001) 『入門語用論研究』研究社出版。
- 小西友七 (編) (1989) 『英語基本形容詞・副詞辞典』研究社出版。
- Leech, G. N. (1983) *Principles of Pragmatics*. London: Longman.
- Nishikawa, M. (2010) *A Cognitive Approach to English Interjections*. Tokyo: Eihosha.
- Schourup, L. (1985) *Common Discourse Particles in English Conversation*. New York/London: Garland Publishing.
- Sperber, D., and D. Wilson. (1995) *Relevance: Communication and Cognition*. Oxford: Blackwell.

辞書

- 『オーレックス英和辞典』[OLEX] (2008) 旺文社。
- 『ウィズダム英和辞典第2版』[WD 2] (2007) 三省堂。
- 『ジーニアス英和辞典第4版』[GN 4] (2006) 大修館書店。
- 『アンカーコズミカ英和辞典』[AC] (2007) 学研。